

# 国際会計研究学会 第32回研究大会のご案内

会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、専修大学神田校舎にて国際会計研究学会第32回研究大会を開催させていただくことになりました。

今日のように経済・社会活動がグローバル化した状況下では、組織の栄枯盛衰が顕著となっており、組織の持続可能性を高めるマネジメントに関心が集まってきています。当該マネジメントを如何に捉えるかは、財務報告の重要な課題となっています。そこで、本大会の統一論題テーマは、「グローバル経済下における組織の持続可能性と財務報告の展開」と設定致しました。

本大会では、韓国セッションおよびシンポジウムが設定されております。韓国セッションは、第30回研究大会から継続して行なわれており、韓国国際会計学会から派遣された報告者2名が予定されております。シンポジウムは「持続的成長時代の企業報告の意味するもの－統合報告と証券市場・ビッグデータ時代の監査－」と題し、統一論題をさらに充実させていくのではないかと考えております。

さらに、2つの研究グループ報告、18の自由論題報告が組まれており、充実したプログラムになっております。活発な報告と討論を通じ、わが国における国際会計研究が、一層発展することを願っております。

多くの会員の皆様の御参加を、準備委員一同心よりお待ちしております。

平成27年8月 第32回研究大会準備委員会

## プログラム

### 10月2日(金)

15:00～16:00 学会賞審査委員会 (1号館8階8B)

16:15～18:00 理事会 (1号館8階8A)

### 10月3日(土)

9:20～16:30 参加者受付 1号館3階303教室前

地階又は1階よりエレベーターをお使い下さい

自由論題報告 ①9:40～10:10 ②10:15～10:45

(全て2階) ③10:55～11:25 ④11:30～12:00

自由論題報告(1) 司会：夏目重美氏(亜細亜大学) 204

①根岸亮平氏(早稲田大学大学院)

「金融商品の減損に係る検討」

②近藤夕見氏(愛知学泉大学)「企業のリスク情報開示の拡充化

に関する社会システム理論による一考察」

司会：大島正克氏(亜細亜大学) 204

③劉功平氏(関西学院大学大学院)

「中国移転価格の税制動機に関する実証研究」

④顧俊堅氏(名古屋大学大学院)

「米中進出日系企業の特徴および利益の質」

自由論題報告(2) 司会：長島弘氏(立正大学) 205

①橋上徹氏(県立広島大学)「連結範囲規制に関する国際的潮流の問題点－投資企業等の連結の例外規定を中心として－」

②島永和幸氏(神戸学院大学)「SASB(米国サステナビリティ会計基準審議会)の会計政策－米国の財務情報・非財務情報の統合化の方向性－」

司会：金井繁雅氏(文京学院大学) 205

③真田正次氏(就実大学)「トランスナショナルな会計基準設定の

歴史を再読する－「制度のロジック」アプローチ－」

④魏巍氏(九州産業大学)「移行経済における会計制度変遷に

関する一考察－比較制度分析を手がかりに－」

自由論題報告(3) 司会：佐々木重人氏(専修大学) 208

①奥原貴士氏(大阪市立大学)「のれん計上後の業績に影響を

及ぼす要因－のれんと組織再編後の投資および資金力に着目した

実証分析－」

②尹志煌氏(青山学院大学)「IFRSの適用効果について－Discretionary Revenue accrualsによる実証－」

司会：平賀正剛氏(愛知学院大学) 208

③スレマン・ハーリド氏(中央大学大学院)「リース会計基準の国際的調和－AAOIFI第8号及びIAS第17号の統一可能性－」

④加納慶太氏(関西学院大学大学院)

「非金融負債における蓋然性の考察」

シンポジウム『持続的成長時代の企業報告の意味するもの－統合報告と証券市場・ビッグデータ時代の監査－』3階303教室

座長 山口峰男氏(PwCあらた監査法人)

①10:55～11:15 安井肇氏(ジャパン・ビジネス・アシュアランス・グループ)「対話コミュニケーションと証券市場の変革」

②11:20～11:40 木村章展氏(PwCあらた監査法人)

「ビッグデータ時代の信頼性確保」

③11:45～12:05 鳥飼裕一氏(東洋大学)

「グローバル化時代の信頼性確保」

昼休憩(12:05～12:40)

会員総会(12:40～13:20) 3階303教室

シンポジウム(山口座長)パネルディスカッション・質疑応答

(13:30～14:30) ディスカッション:古賀智敏(東海学園大学)

3階303教室

韓国セッション 司会：東健太郎氏(立命館大学) 2階204

13:30～14:00 第1報告 14:10～14:40 第2報告

\* 報告者と発表テーマは後日、学会ホームページで発表します

統一論題報告『グローバル経済下における組織の持続可能性と財務報告の展開』 座長山田辰己氏(有限責任あずさ監査法人)

15:00～15:30 加賀谷哲之氏(一橋大学) 3階303教室

「企業価値創造を支える統合報告」

15:30～16:00 神藤浩明氏(政策研究大学院大学)

「統合報告書公表企業の実態と課題」

(16:00～16:30 休憩30分)

16:30～17:00 小西範幸氏(青山学院大学)

「サステナビリティ・リスク情報の統合開示」

17:00～17:30 山崎秀彦氏 (専修大学)

「統合報告に対する信頼性付与の可能性」

**懇親会** 18:00～20:00

**1号館 15階 報恩の間**

## 10月4日(日)

9:00～14:00 参加者受付 **1号館 3階 303教室前**

**自由論題報告** ①9:10～9:40 ②9:45～10:15 **全て2階**

**自由論題報告(4)** 司会: 松本敏史氏(早稲田大学) **204**

①宮川宏氏(富士大学)「作成者と利用者の視点からみる企業情報開示の体系に関する検討」

②齊野純子氏(関西大学)「IFRSにおける利益概念の理論的特徴と方向—IFRS概念フレームワーク公開草案(2015年)を中心として—」

**自由論題報告(5)** 司会: 中村信博氏(福岡大学) **205**

①渡辺雅雄氏(明治大学)「欧州におけるIFRS適用のエンボースメントの統合化」

②潮崎智美氏(九州大学)「欧州資本市場におけるlocal GAAPの適用—ドイツの事例を中心として—」

**自由論題報告(6)** 司会: 中嶋隆一氏(明海大学) **208**

①松山将之氏(日本政策投資銀行)「我が国におけるヘッジ会計適用企業へのIFRS9の及ぼす影響について」

②石坂信一郎氏(岐阜経済大学)「非営利組織における非交換取引の検討—ニュージーランドの取組みを手掛かりに—」

**研究グループ報告**(報告30分、質疑20分) **3階 303教室**

10:20～11:10 「IFRSの概念フレームワークについて」

(中間報告)

主査: 岩崎勇氏(九州大学) 司会: 佐藤倫正氏(愛知学院大学)

11:20～12:10 「国際統合報告フレームワークの形成と課題」

(最終報告)

主査: 古庄修氏(日本大学) 司会: 小西範幸氏(青山学院大学)

**昼休憩**(12:10～12:40)

**統一論題討論会『グローバル経済下における組織の持続可能性と財務報告の展開』** **3階 303教室**

座長 山田辰己氏(有限責任あずさ監査法人)

12:40～14:10 統一論題討論会

## ご案内

1. 参加費・懇親会費は次の通りです。

**参加費 4,000円(非会員は5,000円) 但し、当日支払いの場合は、それぞれ1,000円アップ 懇親会費 5,000円**

2. ご参加の方は、同封の郵便振替払込用紙により**9月18日(金)まで**にお振り込み下さいませようお願い申し上げます。お振り込みの手続きをもちまして参加申し込みとさせていただきます。

3. 郵便局で発行される「払込受領書」をもちまして参加費・懇親会費の領収書に代えさせていただきます。なお、念のため、当日は「払込受領書」(またはその写し)をご持参下さいませようお願いいたします。また、お振り込みいただきました金額につきましては、払い戻しを致しませんので、予めご了承下さい。

### 4. CPE単位認定のご案内

**本大会に参加される日本公認会計士協会会員の方には、CPEの単位が認定される予定です(現在申請中)。当日、会場受付にて所定の手続きをお済ませ下さい。**

5. 昼食については、学内の食堂は閉店しておりますので、近隣の飲食店をご利用下さい。

6. 専修大学神田校舎の1号館・2号館・3号館は、3階までは、廊下でつながっておりますので、報告会場が2階か3階かにご留意いただければ、移動は容易です。教室番号は波下線で示しております。

7. 会員控え室は209教室を予定しております。

ご不明な点等ございましたら、大会準備委員会まで

Eメール等によりご連絡頂ければ幸いです。

## 大会準備委員会連絡先

〒214-8580 川崎市多摩区東三田 2-1-1

専修大学生田校舎 10号館研究室受付気付

Fax: 044 (900) 7848

E-mail: yamasaki@isc.senshu-u.ac.jp

# 国際会計研究学会 第32回研究大会

平成27年10月2日(金)

3日(土)・4日(日)

## 統一論題

『グローバル経済下における組織の  
持続可能性と財務報告の展開』



## 専修大学 神田校舎

**1号館・2号館・3号館**

東京都千代田区神田神保町3-8

■第32回研究大会準備委員会

委員長: 瓶子長幸

委員: 大柳康司・奥西康宏・椛田龍三・黒川保美  
佐々木重人・菱山淳・松本徹・柳裕治・山崎秀彦

10月3日(土)	
韓国セッション 第2会場(2階204教室)	
13:30~14:00	司会 東健太郎氏(立命館大学) ① “Aggressive Earnings Management around IPOs and Involuntary Delisting in KOSDAQ” 報告者 Kim, Moontae (Chosun University)
14:10~14:40	② “Investment Horizons of Foreign Investors and Quality of Accounting Earnings and Value Relevance” 報告者 Ji, Sang-Hyun (Baekseok University)